



至誠の会
鷺山喜久

「家代の里」土地返還は、市長の思うように進んだか

Q 市長は瑕疵^{かし}を認めて、誤って売却した土地の返還依頼をお願いしているが、難航している。最終的に、どのような方法で、土地の返還をしようとしているのか伺う。

交渉状況や市議会特別委員会の調査結果を踏まえて検討

A 現在も交渉を進めています。が、今後の交渉状況や市議会特別委員会の調査結果を踏まえて、市議会へ調停の議案提出について検討していきます。



誤って売却された家代の里
地内緑地

未納額を伺う

Q 市民の税金を注ぎ込み完成した駅前東街区は、マンションの販売までは良かった。しかし店舗棟は大変である。事業者は、掛川市土地開発公社に地代支払いの義務がある。未納金額を伺う。

2725万円である

A 令和2年2月3日現在の未納額は、2423万2425円、遅延損害金が、302万4900円、合計で2725万7325円となります。



アクティブ
マネジメント・
公明クラブ
松浦昌巳

食事のあとはお茶で締める「ごちそう茶ま」推進を

Q 昨年4月に「緑茶で乾杯条例」が施行され、乾杯用のドリンクレシピを考案中とのことだが、虫歯予防や免疫力アップ等緑茶の効能を発信し、食事のあとは緑茶で締める「ごちそう茶ま」も推進できないか。

関係団体と検討していく

A 市民協働で、「緑茶で乾杯条例」の推進を図っています。今後さらなる普及を図るため、緑茶の効能を発信し、ごちそうさまの場で緑茶を飲む文化の普及についても、関係団体と検討していきます。

新東名スマートICの計画は

Q 上西郷工業用地の造成工事と企業誘致を行う事業者を募集

することとなり、掛川第2PAの事業も計画中である。北部地域の活性化に伴い、新東名のスマートIC設置計画について伺う。

掛川第2PAの整備からはじめる

A スマートICは、掛川市にとって重要な施設と認識していますが、設置に関しては、事業費や採算性、接続する道路の整備等、整理すべき大きな課題があります。まずは、掛川第2PAを整備し、そこで掛川の魅力についてPRを行い、その後、スマートICなど、北部の地域資源が活用できる手段の検討を進めます。



掛川PA(下り:名古屋方面)

【その他の質問事項】

・掛川市民災害死亡者ゼロを目指すために